

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	GreenApple調布ヶ丘		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 10日		～ 令和7年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 10日		～ 令和7年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人一人の特性に合わせた支援の提供	週2名ずつ、一人の児童にフォーカスをあて、現状・課題・今後の支援・将来のビジョンなどについての個別会議を行っている。専用ノートを用いて、決定内容を職員全員が把握し、支援にあたれるよう取り組んでいる。	必要に応じて、会議の頻度や順序を変更し、臨機応変な会議活用ができるとよい。非常勤職員の見立てや意見をより反映できるようにするとよい。
2	様々な場所への課外活動への取り組み	・SNSや他事業所(同法人内)からの情報を取り入れ、児童が飽きずに楽しめる場所が提供できることを意識している。 ・職員全員で意見を出し合うようにしている。	公共交通機関の利用や、遠方での外出であっても、職員の配置の仕方やスケジュールを工夫することで、可能な場所が更に増えていく。
3	きめ細やかなサービスを提供するための努力	保護者の相談事項やお願いなどを迅速に対応できるように心がけている。 放課後等デイサービスという枠にとらわれずに、サービス業であることを忘れずに業務に務める。	難しいお願いなどに対しても、どのようにすれば、答えることができるのかをスタッフ全体で考え、Greenappleの考えやマインドをみんなで共通できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・迎えを行っている学校数が多い。 ・送迎対応をしている範囲が広がっている。	・学年があがり、進学した先の学校へのお迎えが必要となることで、迎えを行う学校数が増えた。 ・事業所から離れた場所への送迎であっても対応していたのだが、徐々に利用児童が増えたことで、日々の送迎にかかる時間が長くなってしまった。	無理なく送迎が行えるよう、長い時間をかけて、送迎範囲の縮小と、学校を絞っていく。
2	送迎にかかる時間が長く、支援終了後のミーティングを行う時間が限られてしまう。	ご自宅送りに時間がかかり過ぎている。	無理なく送迎が行えるよう、長い時間をかけて、送迎範囲の縮小を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 GreenApple調布ヶ丘

公表日 令和7年5月26日

利用児童数 24人

回収数 18人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18					
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17				1	
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					いつも整理整頓されている
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					子供一人一人の様子をよく見てくれていると感じている
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17				1	様々な場所へ連れて行ってきて感謝している
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9		3		6	あまりかわりを求めている
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2			4	・面談等でいつも丁寧に対応してくれる ・面談の際に子供とのかわり方をアドバイスしてくれる
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				1	4月から利用を始めたため、わからない
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	2	1		5	・4月から利用を始めたため、わからない ・家族もそれぞれの場があるため、求めている
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17				1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				・親も子ども安心して利用できている
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				・本人が楽しんで通所することができている
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・満足している ・いつもありがとうございます

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		Greenapple調布ヶ丘			
		公表日 令和7年 5月 26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・学習スペースと他活動スペースをわけている。 ・支援室には、活動に必要な物だけを置くようにし、必要スペースを確保している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基準に沿って配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		引き出しに写真を付けるなど道具の片づける場所が、わかりやすいように工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・常に整理整頓、衛生面に注意をしている。 ・学習スペースと他活動スペースをわけている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		クールダウンスペースとして相談室を利用できるようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		児童会議で目標と取り組み期間を決め、その後の会議にて再検討し、時期目標を決めるという流れで行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		児童会議や支援前ミーティングなどで、職員の意見を発信できる場を設けており、職員の経験を問わずアイデアを取り入れるようにしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		今後、検討していきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		内部研修は、研修計画に沿って実施している。外部研修受講がしやすい様、シフト調整や法人が費用負担を行っている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページにて、公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		定期的なモニタリングや送迎の際の保護者様からの聞き取りを参考に、計画作成を行っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児童会議や他ミーティングを通して、指導員の見立てや意見を聞き取り、短期的長期的に必要な支援を検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		全職員に共有し、支援している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		指導員間で打ち合わせを行い、利用児童に合わせてプログラムを立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		前日以前の記録を踏まえ、活動が固定化しないようにしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		支援前ミーティングにて、児童ごとの声かけの内容や支援方法・担当職員などを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	申し送りノートを活用し、翌日のミーティングにて共有するようにしている。	送迎からの戻り時間が遅くなり、ミーティングを行えない日がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		6か月毎にモニタリングを行い、計画の見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		自立支援、創造活動、地域との交流、余暇活動の機会が提供できるような活動の立案に努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自己決定を促す活動や工作で材料などを選ぶ機会を設けるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		サービス担当者会議には、管理者兼児童発達管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	学校迎え時や電話にて、学校での様子の聞き取りを行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校迎えの際や電話連絡にて調整を行っている。下校事項や行事等については、保護者から情報を得ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		8		現状は対象児童がいないが、必要に応じて行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		卒業した児童については、保護者を通して情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8		児童の受け入れ依頼やモニタリングでの連絡を受けることはあるが、研修やスーパーバイズを受ける機会はないため、今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		現在は、意図的に設けていないが、公園活動や課外活動をかかわる機会はある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8		参加をしていないため、今後検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎の際に日頃の様子を伝えるようにしている。また、面談の際は、詳細に伝えるようにしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	面談や送迎の際に、自宅で行える取り組みや声掛けの方法などを助言している。	研修や行事等の情報共有を今後、行ってきたいと思います。	
保護	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談時などに家族の意向の確認を行うようにしている。 児童の行ってみたい場所などを会議で聞き取り、課外活動に取り入れている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期面談時だけでなく、送り時や電話対応も行って おり、ご家庭でできることとGreenappleでできること等を合わせて助言するようにしている。	

者 へ の 説 明 等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		年に1回保護者会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談窓口を設け、迅速に対応することを心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月の通信と、SNSでの発信も行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		必要に応じて、イラスト付きのカードやボードを活用している。また、マカトン法を用いて、意思疎通を図る場合もある。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	ハロウィンイベントの際は、近隣の店舗様をお願いをし、おやつ配布を手伝ってもらっている。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		保護者閲覧ファイルやホームページにて周知をしている。避難訓練は、5月と11月に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的な研修と訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		服薬アンケートを実施している。変更等は随時、保護者より聞き取りを行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		研修と訓練を実施し、安全に支援ができる環境を整えている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		職員間にて共有し、再発防止に務めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的な研修を行い、適切な対応に務めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束適正化検討委員会にて決定し、個別支援計画への記載と保護者への説明を行っている。		